

## ウ分野 森林に対する生物被害、気象災害等の回避・ 防除技術に関する研究

### (イ) 気象災害等の予察技術・復旧技術の開発

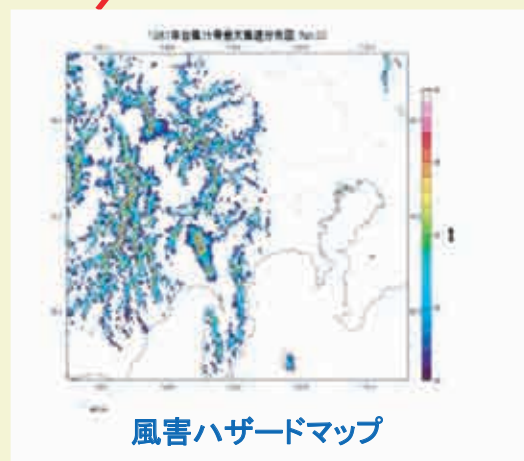
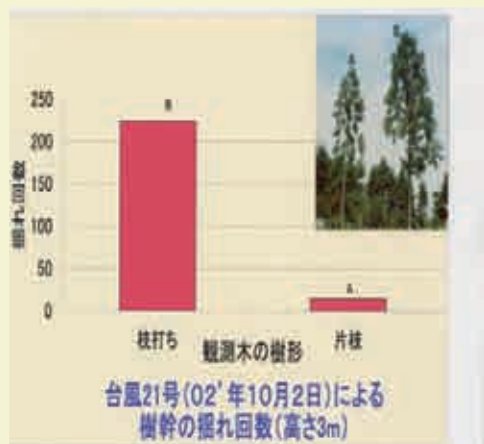
#### 背景と目的

我が国は、台風の常襲地域であるため、強風による森林被害が後を絶ちません。また、瀬戸内海地域をはじめとして、森林火災は依然として問題となっており、対策が求められています。風害や山火事のような気象災害はいったん発生するとほとんど防止することはできないことから、風害に強い山づくり、山火事が起こりにくい、広がりにくい山づくりが必要です。そのため、風害発生ハザードマップや施業による耐風性の増加、山火事の延焼モデル、効率的防火帯の管理手法などの開発をめざしました。



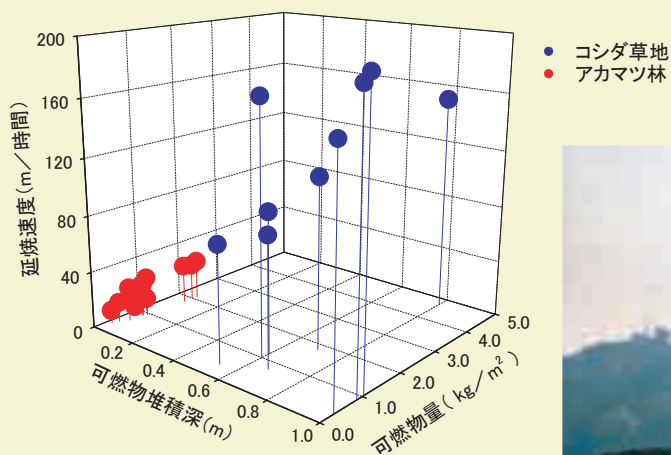
## 台風による森林風害危険地区分図を作成

台風通過時の風速20m/秒以上の地域の推定図から風害ハザードマップを作成しました。  
耐風性向上のための施業対策を策定しました。



## 森林火災発生機構の解明

シダ類の密生する草地は可燃物の量や堆積深が大きくなり、延焼速度は森林の約5倍にもなります。



拡大防止には火災初期の空中消火が有効